

岐阜大学同窓会連合会設立趣意書

われらが母校岐阜大学は、旧制の岐阜師範学校、岐阜青年師範学校及び岐阜農林専門学校を包括し、学芸学部、農学部のみならず新制大学として昭和24年に設置されました。その後、昭和27年に工学部が設置、昭和39年には岐阜県立医科大学が医学部に移管、平成8年には教養部改組に伴い地域科学部が設置され、各学部固有の伝統を受け継ぎながら、現在は5学部・8大学院研究科と幾多の教育研究施設をもつ総合大学としての発展を果たしてきました。平成16年に新たに国立大学法人となった岐阜大学は、「学び、究め、貢献する」との理念に基づき「教育に軸足を置いた教育・研究大学」を目標に「独創的・先進的研究の拠点として知の創造と統合」に努め中部地方に拠点を置いた総合大学として更なる教育・研究の高度化と個性化を図り、地域、国、国際社会に貢献する国立大学のトップランナーたる活力ある大学を目指しています。

岐阜大学が今日あるのは、時代の変化や社会の要請に敏感に応えてきた大学自体の不断の改革努力によることは自明の理です。と同時に6万余名もの数となっている本学同窓生の方々が国内外での活躍を通じて、文化や産業、科学技術、医療、教育などの発展に寄与され、本大学と実社会を結びつけるさまざまな方面に大きな役割を果たしてこられたことと無関係ではありません。今後、各分野において安定的で持続的な岐阜大学の飛躍的発展を実現するには、同窓生とのより一層の交流と連携を密にし、そして新たな知識基盤の構築を学内外において追求していく必要があります。

現在、岐阜大学には5つの学部にも6つの同窓会があり、それぞれ独自に活発に活動しています。昭和57年4月には、岐阜大学統合移転を機に、各学部同窓会が記念事業実施のための「岐阜大学同窓会協議会」（4学部で構成）を組織し、昭和61年7月に同窓会館（現在の柳戸会館）を建設し、大学に寄贈しました。この記念事業終了以降は、全学の同窓会が一致して行ってきた活動はありませんが、協議会組織自体は現在も存続しております。国立大学法人化を経た現状に鑑み、学部の垣根を越えた横断的かつ有機的な活動を通じて母校との連携や協力のより一層の強化が、対外的活動として重要な課題となり浮上してきました。そこで、全学の同窓生が相集い、学部等同窓会の連合体としての「岐阜大学同窓会連合会」を設立したいと考えます。設立目的は、同窓会相互の交流と親睦を深めるとともに、岐阜大学と同窓生との情報交換や連携協力を緊密にし、もって、岐阜大学の発展と学術の振興に対してより一層の協力・寄与することにあります。設立に当たっては、「岐阜大学同窓会協議会」の発展的解消そしてその継承という位置づけで、創立60周年のこの時期に「岐阜大学同窓会連合会」の発足を提案いたします。

平成21年 6 月 1 日

岐阜大学同窓会連合会設立準備委員会